

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

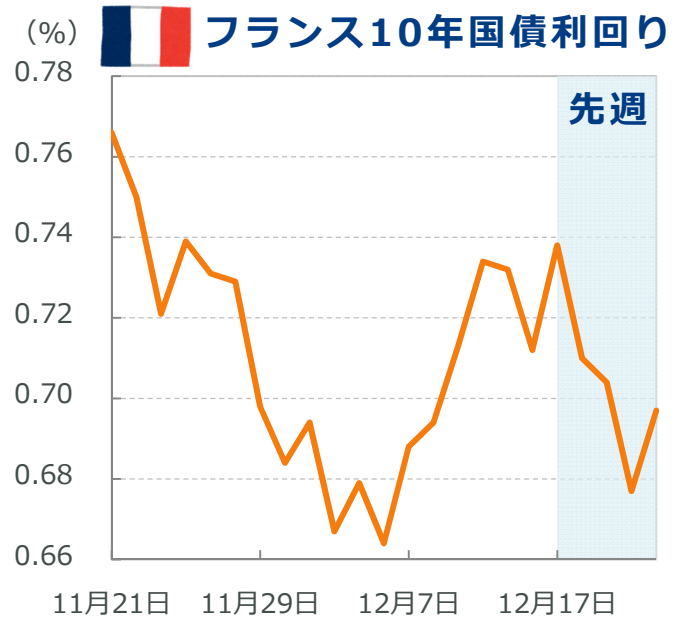
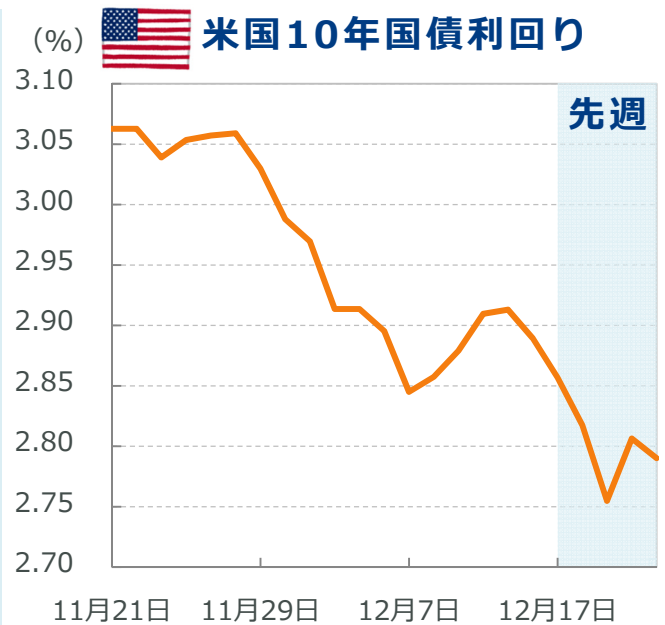
POINT 先進国国債利回り

※データ期間は2018年11月21日から2018年12月21日（日次）

【2018年12月17日～2018年12月21日】

米国債相場が続伸

- ◆米国暫定予算の失効や米国防長官の辞任発表などが米国株式の売り圧力となり、米国債に資金がシフト（利回り低下）。国内債も米国債の流れを引き継ぎ買いが進んだ
- ◆仏国債利回りは週間で下落。来年の仏国債発行予定額公表を控えて買いが進んだ（利回り低下）。21日には来年の仏財政赤字がEUの規定上限3%に触れる可能性が浮上し利回りは上昇に転じる場面も見られた



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

ちょこツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

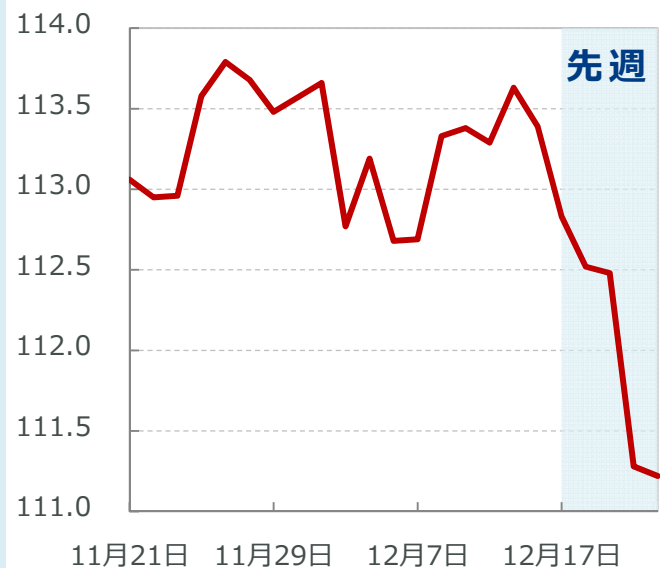
※データ期間は2018年11月21日から2018年12月21日（日次）

【2018年12月17日～2018年12月21日】

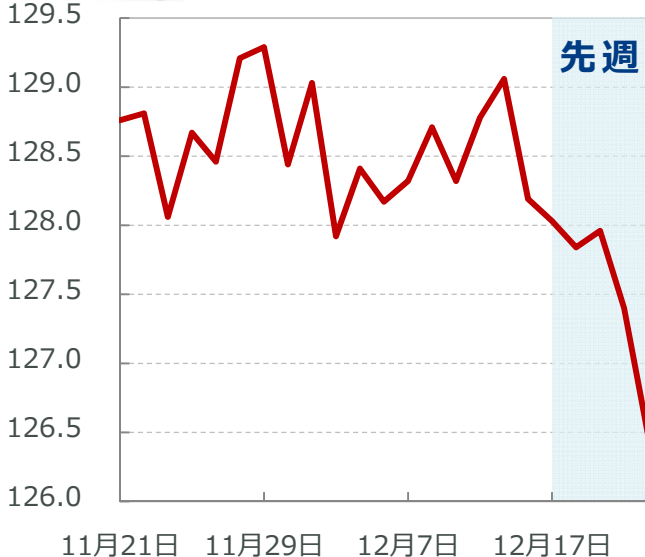
円が全面高

- ◆ 軟調な米国経済指標や米国の利上げ継続姿勢などを受けて世界的な景気減速懸念が広がり、円の逃避買いが進み、米ドル円は一時1米ドル=110円台まで円高が進行
- ◆ ユーロ円は、円高に加え12月の独IFO企業景況感指数の低下などがユーロ売りの材料となった
- ◆ 豪ドルは、原油価格の急落や世界的株安などを嫌気し、リスク回避的な売りが進行

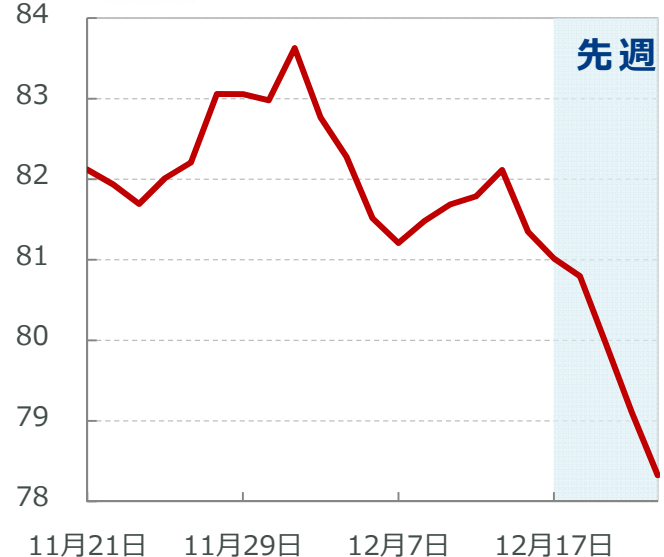
(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg **2/2**

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会